

世界の平和を考えよう

このコースでは、自分たちでテーマを決めて、チームで協力して、戦争や内戦にかかわることを調べました。

また、記念館や実際に戦争に関係する仕事をしている人に話を聞かせてもらうことで調べる以上に「平和」というキーワードについて深く考えることができます。

このような経験をもとに、発表して、皆さんに「平和」について考えてもらうのが私たちの目的です。

《グループの活動テーマ》

- A 子供兵士…子供兵士について
- B 子ども兵士…子供兵士について
- C 世界で起きる内戦…平和に解決する方法について
- D カンボジア内戦と地雷
- E 子供兵と小型兵器…子供兵と小型兵器の関連

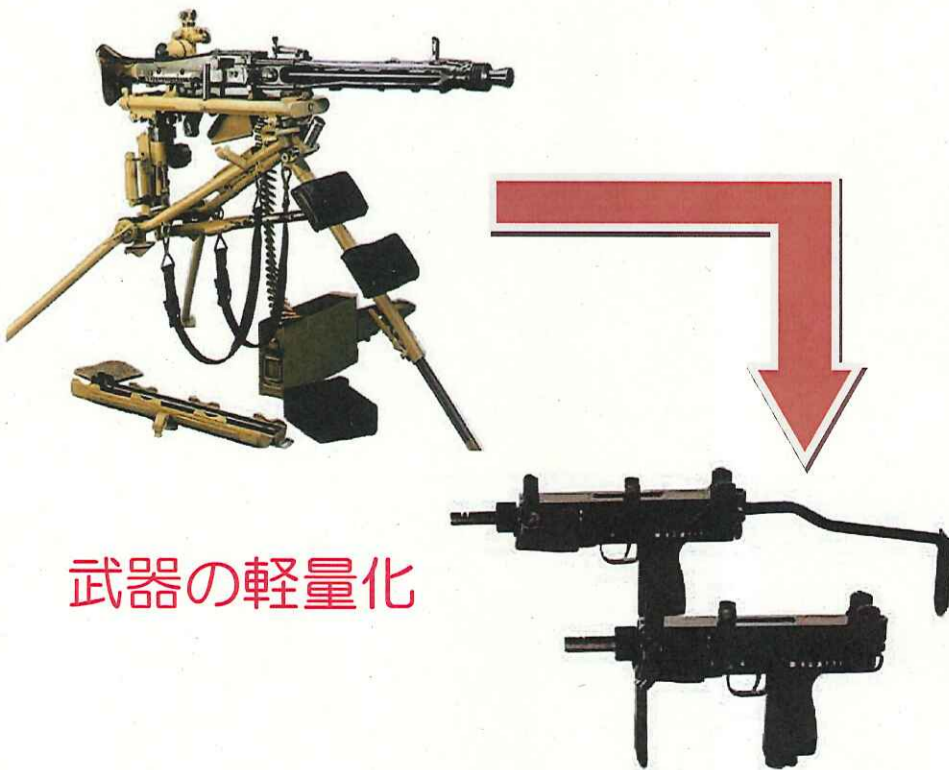
《NPO 法人 テラルネッサンス》



NPO 法人のテラルネッサンスは、「すべての人々が安心して暮らせる社会の実現」を目指して地雷・子ども兵・小型兵器について問題を解決しようとしています。具体的には、書き損じはがき・テレホンカード・寄付金などを集めて地雷を撤去するなどの活動をしています。

《A グループ 子供兵士》

A グループは主に子ども兵士について調べ、子どもが兵士になる理由が主に3つあり、強制的に兵士になるパターンと自発的なパターンと洗脳で兵士にさせるパターンがあることがわかりました。また、武器が軽量化したために子ども兵士が増えたというのも理由の一つです。



《B グループ 子ども兵士》

B グループはA グループと同様に子ども兵士について調べました。私たちにできることは、書き損じはがき・インクカードリッジや携帯電話・支援金を送ることが身近にできるということがわかりました。小銭が多いときは、募金をして世界に役立ってほしいと思います。

《C グループ 世界で起きる内戦》

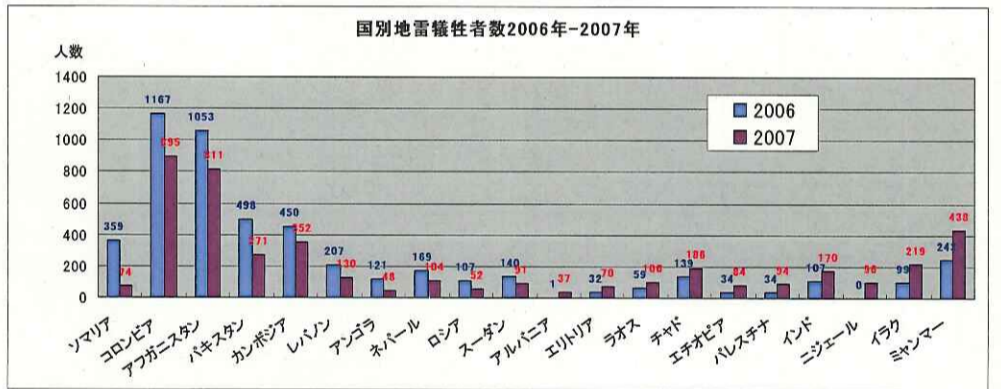


C グループは世界で起きる数々の内戦について調べ、そこから平和に解決する方法を考えました。内戦は、シリア内戦を例えにすると民主主義を望む反政府軍と独立政治を行っている政府軍がぶつ

かって内戦が起きたことがわかりました。解決するのに武力を使うのはおかしいと思いました。平和に解決するためには、約束事(具体的には条約など)が必要という結論になりました。

《D グループ カンボジア内戦と地雷》

D グループではカンボジア内戦と地雷について調べました。カンボジア内戦で埋められた地雷の数は、カンボジア国内でも400万~600万個の地雷が埋められていることがわかりました。



《E グループ 子供兵と小型兵器》

E グループでは少年兵と小型兵器の関連性について調べました。今までの武器は、子供が持てるような重さではありませんでしたが、軽くすることで子供でも戦争に行けるようになりました。子供兵の使用をなくすための取り組みは、1898年児童に関する条約、1990年子供の権利及び福祉に関するアフリカ憲章などの条約が役立っていることがわかりました。

《まとめ》

私たちは今回の学習を通して、子ども兵士とはどんな子供たちなのか、どのような問題を抱えているのかなどを知り、学ぶことができました。平和な日本という国に住み、学校に行くことがあたりまえな私たちにとって、子ども兵士の問題は遠く離れた国の話かもしれませんが、「そんなことはわたしたちに関係ない」とおもうのではなく、同じ地球に住む人間として、問題意識を持つことが大切だと思います。私たちは、これからも世界の様々な問題を知り、どのように取り組んでいくべきなのか考え、それを周りの人にも発信していきたいです。(MET 全体発表のBグループのまとめ・感想)



作成者 世界の平和を考えようコース 生徒